

仲間とまなぶ労働学校 労働者の視野を広める 毎月第4木曜日開催

神田バス労働学校

開講日&場所

2022年10月27日(木) 18時30分

神田神保町区民館 2FB室 参加費500円



テーマ 格差・差別を許さない

最高裁まで闘った私たちのこだわり

講師 後呂 良子さん(メトロコマース元売店)

東京メトロの売店で働く非正規の女性4人が、14年5月1日のメーデー当日にストライキを決行し、メトロ本社前で抗議行動で立ち上がった。正社員、契約社員A、契約社員Bの三つの雇用形態に、同じ仕事をして、賃金など待遇に格差をつける。1ヵ月の賃金は13万円台、貯金の余裕もなし、老後の年金も低く退職金はゼロ！悔し涙を堪え、闘い続けた6年半！

最後まで罵声を発する管理職に憤りと企業の傲慢を見せつけられた。それでも「お客様ありがとうございました」の声で切り返した。そして最高裁まで闘い続け、不当判決に悔し涙。「出るクイは引き抜かれる」の言葉が身に染みたと。後呂良子さんは「労働者は一つにならないといけない。難しいけど、1回くらいは、ゼネストやりたい。運動には組合の後ろ盾が大事です」と振り返る。

私は定年退職後の6ヵ月間無休。退職金の必要を強く感じ、重要を知った。慰労金でもいいから退職金は絶対必要です。お金がないと裁判もできない。それでも退職金の訴訟を退職後でもあるが裁判提訴を考える。私たちは独立しても頑張る決意で学習会、講演活動を続けている。



主催: 神田バス労働学校(バス交流会) 毎月第4木曜日定例開催

東京都千代田区神田神保町2-10

※NPO法人労働相談室名で登録しています。

問い合わせ: 宮川敏一 090-2242-1303